

秋の全国火災予防運動

11月9日(月)から15日(日)までの一週間は「秋の全国火災予防運動」です。これからの季節は、空気が乾燥し火災の発生しやすい時期となります。火の取り扱いには十分注意し、火災を防ぎましょう。

◆令和2年度全国統一防火標語◆ 「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

昨年の火災

令和元年の全国での火災件数は37,538件でした。

出火原因は「たばこ」が最も多く、続いて「たき火」「こんろ」となります。

市内では17件の火災が発生し、建物火災が多く発生しました。

なお、今年の市内の火災件数は9月末現在で12件となっています。これからの季節次のことに注意しましょう。

暖房器具火災に 注意!

間違った使い方、不注意が原因により暖房器具火災が冬期に多く発生しています。十分注意してください。

ストーブの注意点

▼ストーブの上部や近くで、洗濯物を乾かさないようにしましょう。

▼石油ストーブには、灯油を使用し、ガソリンは絶対に使用しないようにしましょう。

▼給油は火を消してから行ないましょう。

▼スプレー缶、カセットボンベ

をストーブの近くに置かないようにしましょう。
▼就寝時や外出時は、必ずストーブの火を消しましょう。

住宅防火対策を しましょう

◆住宅用火災警報器 (住宅用) を設置する

郡上市の住宅用火災警報器の決められた場所全てに設置されている場合は、約59パーセントになります。

火災が発生したときは、火災に早く気づき、避難や初期消火をすることが大切です。火災の発生をいち早く知るため住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器の 維持管理をしましょう

住宅用火災警報器の電池の寿命は約10年とされています。設置から10年が経過するものは、本体ごと交換することが推奨されています。

困ったときは

市ではミニ行政パートナー事業として、住宅用火災警報器の点検事業を業者に委託しています。住宅用火災警報器の不具合や、購入後取り付けていない住宅用火災警報器がある場合は、ご利用ください。(消防本部・消防署所または岐阜県電器商業組合郡上支部加盟店へお問い合わせください。)

●不具合等の例

点検方法がわからない
煙が無いのに音がする

※点検料は無料ですが、機器等の購入には別途費用が必要です。

火災予防作品の審査会を実施しました

市内小中学校、幼稚園、保育園から応募された作品について、ポスターの部と図画の部で審査が行われ、次の2点が最優秀に選ばれました。



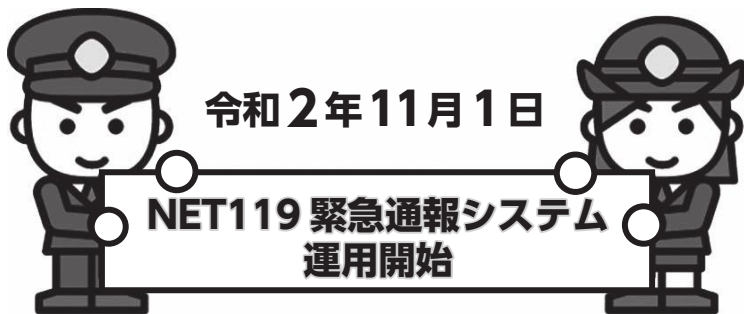
図画の部 最優秀賞
川合 虹輝さん (妙高保育園 年長)



ポスターの部 最優秀賞
畑佐 望愛さん
(八幡中学校3年生)

秀賞に選ばれました。
また、ポスターの部の最優秀作品を県作品展に出展した結果、「一般財団法人岐阜県消防設備協会長賞」を受賞し、10月1日(木)から10月18日(日)までカラフルタウン岐阜で展示されました。おめでとうござい

消防本部
67・0119



【NET119 緊急通報システムとは】

携帯電話やスマートフォンからインターネットを利用して、119番通報を行うことができるシステムで、『事前登録制』のサービスです。

文字による意思疎通ができる



言語機能に障がい



聴力機能に障がい

①画面操作による緊急通報



郡上市消防本部

【利用対象者】

- ▶原則として市内に住んでいる人
- ▶文字による意思疎通が可能な聴覚・言語機能障がいのある人

【登録方法・通報方法】

消防本部ホームページをご覧ください。

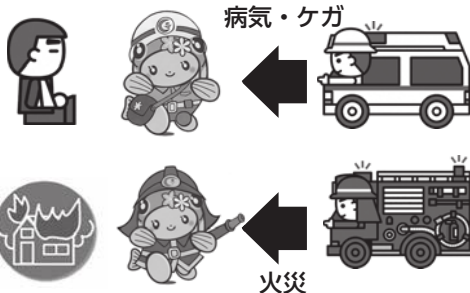
問 消防本部警防指令課

☎ 67-0119

FAX 67-1215

✉ shireika@city.gujo.lg.jp

②緊急出動



救急例

- ③チャットにより詳細を把握する

急病ですか？
ケガですか？

急病です

具合が悪いのはどこですか

おなかです



医師および看護師がヘリコプターに搭乗して、救急現場等に向かい、現場から病院に搬送するまでの間、救命医療を行うことができる専用のヘリコプターです。専門治療ができる病院への、時間短縮に大きく貢献しています。

ドクターヘリとは

岐阜県ドクターヘリは、岐阜大学医学部附属病院に常駐し、平成23年2月から運航を始めています。昨年度の実績は525件出動し、その内郡上市の要請が113件で、岐阜県内で最多となっています。

岐阜県ドクターヘリ

水柱

郡上市消防本部



問

消防本部
67-0119

時間との闘いである救急医療の現場では、ドクターヘリの出動により、助かる命を確実に救うため、消防本部の迅速な要請が必要です。今後、ドクターヘリと消防本部の連携を深め、市民の安心と安全を守ります。

今後について

- ①救急患者発生
- ②119番通報
- ③救急車等出動
- ④消防本部からヘリを要請
- ⑤ヘリ離着陸場等で、救急隊から患者引継ぎ
- ⑥医師等による救命医療開始
- ⑦病院へ搬送

ドクターヘリがくるまで

